



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場取引所 東 札

上場会社名 東亜建設工業株式会社
コード番号 1885 URL <http://www.toa-const.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 正臣
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務部長 (氏名) 緒方 健一

TEL 03-6757-3821

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	36,053	△3.4	△1,898	—	△1,977	—	△1,487	—
26年3月期第1四半期	37,340	25.9	△1,192	—	△1,096	—	△903	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △762百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △373百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△7.12	—
26年3月期第1四半期	△4.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	188,642	62,798	33.1
26年3月期	189,445	63,978	33.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 62,480百万円 26年3月期 63,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	2.00	2.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	83,000	0.5	300	—	100	—	△300	—	△1.44
通期	182,000	△5.5	3,700	68.0	2,900	60.2	1,200	46.4	5.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	224,946,290 株	26年3月期	224,946,290 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	15,917,939 株	26年3月期	15,917,561 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	209,028,485 株	26年3月期1Q	209,688,657 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後さまざまな要因によって業績予想値とは異なる結果となる可能性があります。
2. 第2四半期連結累計期間の業績予想値につきましては、売上高が下半期に集中する業績の季節変動要因があることから、通期に対して低い水準となり、当社グループの実態を必ずしも適切に表していないことをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
四半期個別受注の概況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動による落ち込みが懸念されましたが、雇用状況の改善や個人所得の増加などを背景に個人消費の落ち込みは緩和され、持ち直しの兆しがみられました。

国内建設市場におきましては、民間建設投資の一部に落ち込みはありましたが、平成25年度補正予算並びに平成26年度予算が執行され、政府建設投資は前年同期を上回り、堅調に推移いたしました。一方、資機材価格の上昇や建設労働者不足による建設コストの高騰は、民間建設投資の鈍化や工事採算性の押し下げ要因となることが懸念されており、予断を許さない経営環境となっております。

このような環境の下、当社グループは、「中期経営計画」（2013年度～2015年度）の基本方針に掲げる「事業規模の堅持」、「収益性の向上」、「顧客志向の徹底」を達成することにより、経営基盤を強化し、顧客と社会からの期待と信頼に応える持続的成長企業を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は36,053百万円（前年同四半期比3.4%減）、営業損失は1,898百万円（前年同四半期は営業損失1,192百万円）、経常損失は1,977百万円（前年同四半期は経常損失1,096百万円）、四半期純損失は1,487百万円（前年同四半期は四半期純損失903百万円）となりました。

当社グループのセグメントの業績は次のとおりであります。

(国内土木事業)

海上土木分野をコア事業とし、被災地の復興並びに社会資本の整備に注力しております。当第1四半期連結累計期間の売上高は14,555百万円（前年同四半期比11.5%減）、セグメント損失（営業損失）は130百万円（前年同四半期はセグメント損失183百万円）となりました。

(国内建築事業)

特命案件・設計施工案件の受注拡大による利益確保を図っております。当第1四半期連結累計期間の売上高は12,792百万円（前年同四半期比29.8%増）となりました。セグメント損失（営業損失）は221百万円（前年同四半期はセグメント損失651百万円）となりました。

(海外事業)

東南アジアを拠点とし、海上土木工事と火力発電所等プラント工事に注力しております。当第1四半期連結累計期間の売上高は6,422百万円（前年同四半期比27.2%減）、セグメント損失（営業損失）は897百万円（前年同四半期はセグメント利益301百万円）となりました。

(その他)

当第1四半期連結累計期間の売上高は2,282百万円（前年同四半期比3.3%増）、セグメント利益（営業利益）は145百万円（前年同四半期比126.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して803百万円減少し、188,642百万円となりました。これは主に現金預金及び未成工事支出金等が増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末と比較して377百万円増加し、125,844百万円となりました。これは主に支払手形・工事未払金等が減少したものの、未成工事受入金が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1,180百万円減少し、62,798百万円となりました。なお、自己資本比率は33.1%と、前連結会計年度末と比較して0.5ポイント減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在のところ平成26年5月15日に公表いたしました業績予想について、第2四半期連結累計期間、通期ともに変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

なお、この変更による連結財務諸表への影響はありません。

(4) 追加情報

平成26年3月30日、当社が共同企業体の一員として施工中の沖ノ鳥島での工事において栈橋の転覆事故が発生いたしました。現在、事故原因の究明と再発防止に向けた検討が行われており、この事故による業績に与える影響については、現時点では合理的に見積もることは困難であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	43,040	52,654
受取手形・完成工事未収入金等	68,601	51,307
未成工事支出金等	8,187	13,800
販売用不動産	5,003	4,985
その他	17,808	18,969
貸倒引当金	△208	△206
流動資産合計	142,432	141,511
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	5,247	5,218
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	4,296	4,240
土地	19,917	19,886
その他	49	165
有形固定資産合計	29,510	29,511
無形固定資産		
	410	387
投資その他の資産		
投資有価証券	13,171	13,673
その他	4,574	4,211
貸倒引当金	△654	△653
投資その他の資産合計	17,091	17,231
固定資産合計	47,012	47,131
資産合計	189,445	188,642
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	51,130	44,571
短期借入金	15,141	15,242
未払法人税等	2,494	888
未成工事受入金	7,870	13,611
完成工事補償引当金	392	380
工事損失引当金	4,796	4,614
その他	15,612	20,056
流動負債合計	97,438	99,366
固定負債		
長期借入金	17,146	16,321
再評価に係る繰延税金負債	2,965	2,963
退職給付に係る負債	6,254	5,552
その他	1,662	1,640
固定負債合計	28,028	26,478
負債合計	125,466	125,844

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,976	18,976
資本剰余金	18,113	18,113
利益剰余金	24,540	22,637
自己株式	△2,052	△2,052
株主資本合計	59,577	57,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,178	3,511
土地再評価差額金	2,693	2,689
退職給付に係る調整累計額	△1,768	△1,395
その他の包括利益累計額合計	4,103	4,805
少数株主持分	297	317
純資産合計	63,978	62,798
負債純資産合計	189,445	188,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	37,340	36,053
売上原価	36,088	35,614
売上総利益	1,252	439
販売費及び一般管理費	2,444	2,338
営業損失(△)	△1,192	△1,898
営業外収益		
受取利息	28	13
受取配当金	108	108
為替差益	91	—
その他	51	19
営業外収益合計	280	141
営業外費用		
支払利息	148	135
為替差損	—	46
その他	35	38
営業外費用合計	184	219
経常損失(△)	△1,096	△1,977
特別利益	—	—
特別損失		
減損損失	166	31
その他	31	9
特別損失合計	198	41
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,294	△2,018
法人税、住民税及び事業税	163	132
法人税等調整額	△565	△682
法人税等合計	△402	△550
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△892	△1,467
少数株主利益	11	19
四半期純損失(△)	△903	△1,487

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△892	△1,467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	518	332
退職給付に係る調整額	—	372
その他の包括利益合計	518	705
四半期包括利益	△373	△762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△384	△782
少数株主に係る四半期包括利益	11	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内土木 事業	国内建築 事業	海外事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	16,455	9,856	8,819	35,131	2,209	37,340	—	37,340
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	15	—	15	6,561	6,577	△6,577	—
計	16,455	9,872	8,819	35,147	8,770	43,918	△6,577	37,340
セグメント利益又は損失(△)	△183	△651	301	△532	64	△468	△724	△1,192

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、建設機械の製造・販売及び修理事業、PFI事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△724百万円には、セグメント間取引消去△25百万円及び各報告セグメントに帰属しない一般管理費△698百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内土木 事業	国内建築 事業	海外事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	14,555	12,792	6,422	33,770	2,282	36,053	—	36,053
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	13	—	16	3,918	3,934	△3,934	—
計	14,559	12,805	6,422	33,787	6,200	39,988	△3,934	36,053
セグメント利益又は損失(△)	△130	△221	△897	△1,248	145	△1,103	△795	△1,898

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、建設機械の製造・販売及び修理事業、PFI事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△795百万円には、セグメント間取引消去△116百万円及び各報告セグメントに帰属しない一般管理費△678百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 補足情報

四半期個別受注の概況

①個別受注実績

	受注高		
平成27年3月期第1四半期累計期間	49,328	百万円	31.8 %
平成26年3月期第1四半期累計期間	37,422		15.6

(注) パーセント表示は前年同四半期比増減率

(参考) 受注実績内訳

(単位：百万円)

区 分		前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	増減	増減率	
建 設 事 業	土 木	国内官公庁	16,645 (44.4 %)	20,693 (42.0 %)	4,048	24.3 %
		国内民間	3,780 (10.1)	5,747 (11.7)	1,967	52.0
		海外	1,143 (3.1)	6,970 (14.1)	5,826	509.6
		計	21,568 (57.6)	33,411 (67.8)	11,842	54.9
	建 築	国内官公庁	1,240 (3.3)	3,326 (6.7)	2,085	168.1
		国内民間	13,708 (36.7)	11,910 (24.1)	△1,797	△13.1
		海外	0 (0.0)	△207 (△0.4)	△207	-
		計	14,948 (40.0)	15,029 (30.4)	81	0.5
	合 計	国内官公庁	17,885 (47.7)	24,020 (48.7)	6,134	34.3
		国内民間	17,488 (46.8)	17,658 (35.8)	170	1.0
		海外	1,143 (3.1)	6,762 (13.7)	5,619	491.5
		計	36,517 (97.6)	48,441 (98.2)	11,924	32.7
開 発 事 業 等		904 (2.4)	887 (1.8)	△17	△1.9	
合 計		37,422 (100.0)	49,328 (100.0)	11,906	31.8	

(注) () 内のパーセント表示は、構成比率

②個別受注予想

	受注高		
平成27年3月期予想	157,500	百万円	△11.0 %
平成26年3月期実績	176,924		1.7

(注) パーセント表示は、前年同期比増減率

[個別受注実績及び個別受注予想に関する定性的情報等]

当第1四半期累計期間の個別受注実績につきましては、前年同四半期に比べ、建築工事は横ばいとなりましたが、土木工事及び海外工事が増加したことにより、合計では前年同四半期比31.8%の増加となりました。

従いまして、通期の個別受注予想につきましては、概ね計画通り1,575億円を見込んでおります。

なお、上記の予想数値は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の受注実績は、今後さまざまな要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。